山ガールにおすすめ！

ライトカーボン E64 II by SLIK

山ガール＆ママフォトグラファー
Atsumi が最新カーボン三脚を
使ってみた！

こんにちは。
山ガールでママフォトグラファーの Atsumi です。
娘の記録写真を Instagram にアップするのが日常の私は、
フォトグラファーの今井しのぶさんに写真を学んだのが縁で、
スリックの最新三脚**ライトカーボン E64 II** のモニターを
することとなりました。
私が愛用している三脚はＧＸ6400 ブルー。
パイプの色がとてもお気に入り。
でも最近、山に登る頻度が増え、娘も連れて行くように
なると「もう少し軽い三脚が欲しいなぁ～」
と思いはじめていました。

軽い三脚と言えば、
やはりカーボン三脚。
今回モニターするライトカーボン E64 I（I 1,040 g）は、私が使っているＧＸ6400 ブルー（1,250 g）よりも軽くて山歩きに連れて行きたい！と思わせてくれるほどの好印象。
さらに細身のボディーが素敵。

撮影好きな私は、
「構図を決め」「余分な要素が入っていないかの確認」
「光の状況の見極め」など、画面の中に意識を集中するために三脚を使います。
三脚選びも軽さだけではなく、構図決めのために、
伸長 155ｃｍの私の「目線の高さ」は必須。
そんな私のすべてに答えてくれそうなライトカーボンＥ64 II に触れながら山行きの準備開始！

軽装で行きたいので、軽いバックパックに機材を
ＬＯＧＯＳのカメラ用インナーケースに入れ、
三脚はバックパックの脇に取り付けることに。
このライトカーボン Ｅ64 II は軽量なので、バックパックの重量のバランスは気にならず、
山道も歩きやすそう。
現地に着くまでは三脚はケースに入れ、
到着後、撮影移動することを考えて三脚を
ケースから取り出しバックパックに再度取り
付けることにしました。

今回モニター場所に選んだのは上高地！。ここは何度行っても素敵な場所です。美しい山々を眺め、澄んだ空気を味わいながら、
ほどよく山を歩いたところで撮影準備。
河童橋からほど近いあたりに腰を据えて、三脚を設置。
開脚もスムーズで、岩場での設置でもしっかりと安定してくれるのはとても良いです。
さらに、三脚を使えばカメラを手持ちする必要が無いので、疲れず、撮影に集中できるのも◎。

カメラ取付部分のアップ

カメラを載せてツマミをくるくる回すだけ。シンプルな構造です。
クイックシューでカメラが持ちづらくなることなく、
クイックシューを忘れて現場で慌てることがないです。
自由雲台としてはコンパクトで、しかも操作箇所が
一か所で、構図の決定も早いです。

岩場で安定させて立たせる方法の一つが、
脚を開いて底面積を増やす方法です。
ローポジションの設定はボタンを押して
脚を引き上げるだけ。簡単です。

山の風景と撮影を楽しんでいたら、あっという間にバスの時間。
今回モニターとして使用した**ライトカーボン E64 II** ですが、重さを苦と感じさせず、
構図決めや操作感・高さといった私の想いを満たしてくれた「細身の紳士」
といった感じ。山ガールの私に、とてもピッタリな三脚でした。
皆さんにおすすめ！是非使ってみてね♪

カーボン三脚を選ぶ理由

カーボン三脚はアルミパイプを採用した三脚と比較して、軽く、振動吸収性に優れているところが特徴です。三脚によりますが、アルミ三脚と比較して 3 割程度の軽量化となります。
パイプ径が細い三脚の場合、カーボン三脚とアルミ三脚の重量差が少ない場合もありますが、その場合はカーボン三脚の方が剛性に優れ、より高い安定感の三脚といえるでしょう。

新世代のハライチロック式開脚機構

青い押しボタンを押し込み、脚を持ち上げると
通常開脚、ミドルポジション、ローポジションの
3 段階に開脚角度を変えることができます。
脚を閉じると、通常開脚に復元するセミオート
ラチェットにより、意識せずに開脚が開きすぎる
といったことはありません。

カメラ取付はシングルナット式

雲台の上にカメラを載せて、大きなダイヤルを回せば簡単にカメラを固定できます。
クイックシュー式と異なり、カメラにあらかじめ
クイックシューを取り付けておく必要が
ありません。
そのため、カメラに出っ張りなどがなくて
持ちやすく、撮影現場で「クイックシューを
忘れた」というようなトラブルもありません。

ナット式の脚伸縮機構

三脚の伸縮部分には「ナット式」と「レバー式」があります。
レバー式は比較的手ごろな価格の三脚に使われ、
三脚の操作に慣れていない人にも簡単に扱うことが
できるというメリットがあります。
一方で、ナット式の伸縮機構は操作に慣れが必要と
されますが、よりしっかり固定ができること、
慣れれば一度に複数の個所の操作ができ、素早い
伸縮が可能となる点も魅力です。
また、山歩きの際に飛び出す部分が少なくなるため、
周囲の枝などに引っ掛かりにくいといった点でも
優れています。

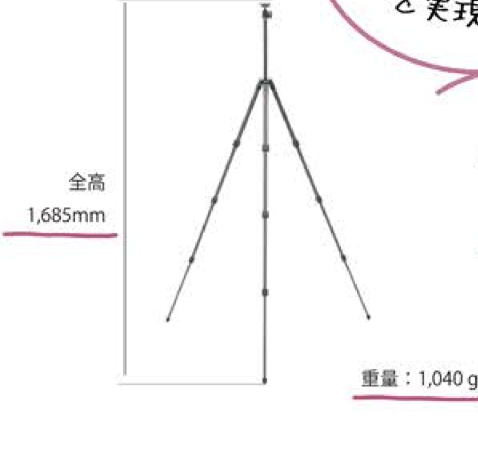
地上最低高は 210mm

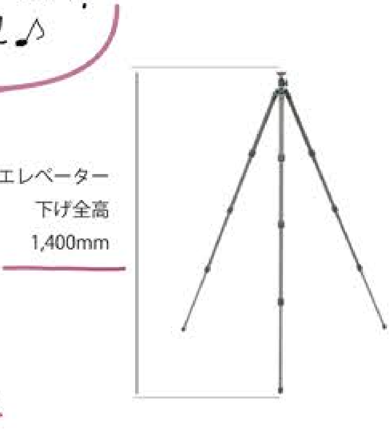
開脚角度をローポジションまで開き、
ねじ込み式のエレベーター下部を
取り外せば、地上から 210mm の高さ
（雲台の上部）にカメラをセットできます。
草花や昆虫の撮影など、カメラを低い位置
で構えてキープしたいときに、大変便利な
機構です。

脚を伸ばすだけで目の高さに（1400mm）
エレベーターを上げれば、1,685mm と
背が高い人でも大丈夫。
パイプ径 22mm の 4 段式とする
ことで、持ち運びのコンパクトさに対して、
十分な高さを実現しました。

撮影現場で「ここで撮りたい！」と思っても、
三脚の全高が低い場合、思い通りの構図を
取ることができません。
ライトカーボン E64II は、持ち運びはコンパクトでも、
目の高さが出せるように高さを設定しています。

ここで撮りたい！を実現♪





スリック ライトカーボン E64 II スペック表

全　高	1,685mm
EV 下げ全高	1,400mm
縮　長	520mm
地上最低高	210mm
EV ストローク	285mm
重　量	1,040 g
段　数	4 段
パイプサイズ	○ 22mm
最大搭載重量	2 kg
JAN コード	4906752107324
付属品：三脚ケース　製造国：タイ	

エレベーター下部にウェイトフックを装備

三脚が軽いと、重心が高くなって不安定？
ライトカーボン E64 II では、エレベーター
下部にウェイトフックを装備しています。
必要に応じて、リュックなどをフックに
引っ掛けて重心を下げることが可能です。

こちらの商品のBizBroadご注文ページは下記URLをクリックしてください
https://bizbroad.kenko-tokina.co.jp/shop/g/g4906752107324/